

研究課題名

抗菌薬適正使用と薬剤耐性対策に基づく J-SIPHE (Japan Surveillance for Infection Prevention and Healthcare Epidemiology:感染対策連携共通プラットフォーム) への参加登録事業

1. 研究の対象

当院で抗菌薬の投与を受けた方や感染症診療を受けた方が対象となります。

2. 研究目的・方法

近年、抗菌薬の不適切な使用は薬剤耐性菌の増加および医療費増大など多くの問題を引き起こしており世界的な問題となっております。本邦では、2016年に「薬剤耐性対策アクションプラン」が策定され、それに基づき各医療機関における普及啓発・教育、動向調査・監視(薬剤耐性や抗微生物剤の使用量)、感染予防・管理、抗微生物剤の適正使用等に関する取り組みが求められております。

感染症診療に関連するプロセス指標・アウトカム指標を収集するためのサーベイランスを目的として、J-SIPHE(Japan Surveillance for Infection Prevention and Healthcare Epidemiology:感染対策連携共通プラットフォーム)が、厚生労働省の委託事業として2019年より稼働いたしました。

本研究では、J-SIPHEへ参加登録し、登録データを使用して薬剤耐性対策や抗菌薬適正使用などの感染症対策を実践していくことを目的としております。さらに、それらのデータを地域における参加施設や地域ネットワーク等で活用し、自施設のみならず地域参加施設の感染症対策が向上することが期待されております。

研究期間：2022年7月から10年間の研究期間となります。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報:主に電子カルテの情報を基に①から④の情報を登録いたします。

- ① 感染症診療・抗菌薬適正使用支援チーム関連情報
- ② 抗菌薬使用量関連情報
- ③ 院内感染対策チーム関連情報
- ④ 微生物・耐性菌関連情報

試料:情報以外に試料(血液サンプルなど)は一切取り扱いません。

- 1) 本研究で取り扱う登録情報には個人を特定できる情報は含まれません。
- 2) 他施設が J-SIPHE に登録されているデータを利用する場合は、「J-SIPHE 参加施設データ利用規約」を遵守いたします。
- 3) 患者さんの個人情報と、匿名化した【診療情報】を結びつける情報(連結情報)

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

住所:新潟市中央区川岸町2丁目15番地3

電話:025-266-5111 (大代表)

当院研究責任者:新潟県立がんセンター新潟病院 消化器外科 野村達也